



きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの **学ぼう防災**

25

今年2月、岩手県大船渡市で発生した山林火災は、複数の場所で長い期間燃え続け、一般的な小学校の校庭約4800個分に相当する広大な面積を焼失しました。この火災で1人が犠牲になり、200棟以上の建物が被害を受け、そのうち175棟が全焼しました。多くの住民が住む場所を失い、避難生活を余儀なくされています。東日

本大震災から復興を遂げつつあった漁業施設も深刻な被害を受けました。このように、山林火災は森林や住宅地を焼き尽くすだけでなく、ときに尊い人命をも奪います。山林火災は、アウトドアでのたき火やごみの焼却など「火を使うときの不注意」が原因として多く、約7割が1月から5月に発生しています。この時期は降水量が

少なく、空気が乾燥しており、火災が発生すると強風で火の粉が飛び、火災が拡大するリスクが高まります。皆さんも、たき火やバーベキューをするときは、家族と一緒に次のことに注意してください。

①水バケツや消火器を準備する。  
②周りに燃えやすいものがないか確認して燃え移りに注意する。

③火を使っているときはその場を離れない。  
④火を使った後は十分に水を使って消火する。そして、最も大切なのは、風が強い日は絶対にたき火やバーベキューをしないことです。せっかくの予定を中止するのは嫌かもしれませんが、「これくらいなら大丈夫」という油断が取り返しのつかない火災を招きます。また、公園や広場などどこでも火を使っ

山林火災防ぐ最善の対策

強風の日外で火使わない



外で火を使う時の注意点

- 水の入ったバケツや消火器を準備する
- その場を離れない
- 燃えやすい物を近くに置かない
- 燃え残りがいないか注意する
- 子どもだけで火を使わない

イラスト さとうあけみ

この日 何の日

◇5月1日(木) 八十八夜  
立春から数えて88日目に当たる日で、季節の変わり目を知らせる雑節の一つです。種まきや茶摘みなど、本格的な農作業をする目安とされます。この日に摘んだ新茶は縁起物として扱われます。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 Let's try 防災クッキング
- 8面 投稿特集

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ